



光善寺と香里園のあいだを京阪電車に乗っていると、窓から見える不思議な建物「香里能楽堂」で枚方女子展の撮影をさせていただきました。50年の歴史がある本格的能楽堂が地域にあるってすばらしいことです。ときどき開催される地元公演を、ぜひ一度ごらんいただきたいです。モデルさんは、茶道の辰巳宗恵先生（能楽師辰巳満次郎氏のお母様）のお弟子さんで、とても楽しい方です。（文／写真：フォトグラファー花歌） ※3ページに詳細記事

お天
気
の
日
は

歩
こ
う
歩
こ
う



- ◆ [作家 鶴島緋沙子の もぐらの目 52] 日常の外
- ◆ すばらしい地元の能楽堂で「枚方女子」の撮影
- ◆ 秀作エッセイ「桜」
- ◆ ビッグイシュートークイベント 「子ども食堂」
- ◆ 鶴島昭雄さんに聞く 戦争の体験(9) 忘れ得ぬ幼友達
- ◆ 今月の五行歌
- ◆ 原発賠償関西訴訟第11回期日の傍聴に行きました
- ◆ 12月10日、11日「子どもの権利条約フォーラム」が吹田で開催
- ◆ イベント紹介 ◆ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス : lip@love-dugong.net

TEL : 070-5653-6913 (18時以降)

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)

「もぐらの目」五十二

日常の外

とある駅を降りると、そこは、小さな古びた店が並ぶ昔ながらの懐かしい一角。日暮れ刻ともなれば、焼き鳥やソース、ビールや焼き魚の匂いに誘われた仕事帰りのおじさんたちが、思いきりストレスを発散させるかっこのような場所でもありそう。今、私はその駅の出口に立っている。何年振りだろう、こんな所で男性と待ち合わせるのは。胸どきどき。

相手は「キットン」こと木藤君。孫よりも若い国立大阪大学二回生。

鶴島緋沙子

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」や、「私の中」の瀬戸内寂聴（いずれも、つげ書房新社刊）などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセイ文学科」講師。「同大学同窓会枚方・寝屋川・交野合同」の「文章講座」講師。また、「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の代表です。「もぐらの目」は、隔月連載の予定。これまでの連載をまとめた著書「もぐらの目」が、つげ書房新社から刊行されています。



毎週一回「自閉症」の息子が、彼と仲間達が集まる阪大キャンパスの中の「ボックス」と称する空間で思い切り自由な時間を彼等と共に過ごしている。その学生達に今日は、私がゲストとして招かれたのだ。何でもいいですから息子さんの小さい頃からの話をして下さいとのこと。拙著『トミーの夕陽』が山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作の一つになり、北海道から九州まで、果てはニューヨーク、ミネアポリスにまで招かれてお話をしたトミー行脚の頃から、ずいぶん久しぶりのことになる。

「お待ちせしました。こちらです」爽やかな声と共に、長身のキットンが現れた。

踏切を渡ると道幅が急に広くなり、左右に高い並木が続く緩やかな坂に出る。緑の中を大らかにカーブしながら国立大阪大学の正門に続く道である。人間臭さ一杯のホルモンの匂いから一変して今度は、アカデミックな領域へ。思えば阪大の学生さんとの付き合いは、おおかた四十年にはなろうか。この話は、又の機会に。「いつも有難うございます。今日はどんな事話せばいいの」

「いやあ、何でもいいですよ。芳樹さんの事なら何でも」

ゆっくりした足取りのキットン。
「芳樹、いつもここを歩いてボックスに行くのですね」
「そうです。ここにこしながら登って来ますよ」

「そうですね、そうですね、目に見えるようですよ。家では見た事のないような特上の笑顔で」「はっはっはっ」期せずしてキットンの脳裏にも、ニコニコ顔の芳樹おじさんの顔が浮かんだのか、二人して大笑い。夏休みとあって学生の姿は少ないが、緑の中のそこそこに、教授らしい人を囲んでの団欒だろうか、たむろする楽しそうな雰囲気。若者達。やがて案内されたのは広い教室。その正面に私の席。やがて、三三五五、学生達が集まってくる。男女半々ぐらいで三十人程。留学生らしい外国人も一人いる。

毎週、「ボックス」で芳樹と共に過ごすキットン始め「フロンテア」の学生達が、友達を集めてくれたのだ。近頃は、「大阪府高齢者大学」の、文字通り「爺様、婆様」達の前でおしゃべりする「大婆様」の私。何と今日の空気の新鮮さ。大婆様の私としたことが少々上がり気味の二時間。時には質問しながら真剣に楽しそうに聴いてくれた若者達。私にとってもこよなく楽しい刻だった。感謝、感謝。「さて話の内容は？」と問われれば、
「待ってました！『トミーの夕陽』（つげ書房新社）をどうぞ。」



すばらしい地元の能楽堂で「枚方女子」の撮影

京阪電車で光善寺から香里園へ行く途中、線路沿いに不思議な雰囲気建物が見えるのをご存知でしょうか。今年50年の歴史を迎えた本格的な能楽堂「香里能楽堂」です。

能楽は能楽師たちによって深く、ストイックに追及されてきた芸術だと思います。文学的にも評価が高く、短いストーリーや言葉のなかに心を打つ力を感じることがあります。翁のような不思議なキャラクターが神と自然と人間とのつながりを感じさせたり、霊が世間の無常や人生の儚さをしみじみと醸し出しだしたりする、魅惑的な世界が広がっています。

現在、香里能楽堂の運営を担い、公演を開かれているのが、宝生流能楽師の辰巳満次郎氏です。辰巳満次郎氏のお母様である辰巳宗恵先生が茶道の先生で（友愛会茶道部和恵会主宰）、表紙写真は先生のお弟子さんです。

お二方には快く撮影に協力いただきました。すばらしい空間で枚方女子展の撮影ができました。

少し能のストーリーや登場人物を調べるだけで、能の舞台を楽しめます。白洲正子『能の物語』というすばらしい訳も入門にぴったりでおすすめてです。

ぜひ一度、満次郎氏の舞台へ！！

（フォトグラファー花歌）

桜

大阪府高齢者大学校エッセー文学科

峰松朱実

今年の春程わが街の桜を开花からじつくりと見届けた年があっただろうか。

自宅から京阪香里園駅前までの約二キロの道のりを夫に従ってゆつくりと歩くのが日課となつて三ヶ月余り。道中には幹を太らせた桜の大木がそこそこに点在する。中でも坂道途中の児童公園の桜の満開の風情はそれはそれは見ごとだった。

思いがけず昨年夏、夫の病が発覚。第三期の食道がんだった。枚方市の病院で二度の抗がん剤治療、そして九月、十時間に及ぶ手術は、主治医の高度な技術で成功喜び勇んで退院したがそれは又新しい試練の始まりだった。胃を持ち上げて食道の代替にしたために、食べ物直接腸へ。新しい体になれるにはまず食べることを一からやり直さねばならない。

体重も六、七キロ減少。仕方なく腸ろうのお世話にもなった。それでも三ヶ月を過ぎた頃から食べる量も増え最近では小旅行も楽しめるまでに回復。ただ脚力が極端に落ちた様子。とにかく足が鉛のように重いと言う。「もう限界や」と弱音を吐く夫。金比羅さんの石段をすいすい上がった昨春の夫とつい比較して胸が一ぱいになる。

その上、先日、CT検査で新たながんが認められた。正直、その事実を聞いたときは動揺したが、八十歳という高齢の身である夫に「機嫌よう過ごすのが何よりの薬」という先生の見解は、もとより私どもにも異存などない。その時、二ヶ月前から二人で申し込んでいた上越方面の観光ツアーを三日後に控えていた。その先生の一言はツアー参加を決心させた。

昨日の雨で公園の桜もすっかり散ってしまったが、私の心はいつになく満たされていた。

公園に 人影はなし 花は葉に

朱実

※八月七日早朝、康之様ご他界。心よりお悔やみ申し上げます。（エッセー文学科講師 鶴島緋沙子）

●サプリ村野学校で、顔を合わせて、語り合う

枚方市村野西町のサプリ村野では、サプリ村野学校「BIG ISSUEトークイベント in 枚方」として、ビッグイシュー枚方市駅担当販売者・山本新一さんが主催して、参加者皆で語り合う、トークイベントを、5月から隔月開催しています。

第3回の9月26日は、「子ども食堂」をテーマに、午後6時半開始。スタッフによるビッグイシューの説明と山本さんの自己紹介に続いて、「子ども食堂」が特集の『ビッグイシュー』276号を参加者皆が10分間各々好きなところを黙読しました。そうしてそ



サプリ村野学校で、ビッグイシュー・トークイベント 9月は、「子ども食堂」を語り合う

の感想を同じ机を囲んだ人たちと語り合い、盛り上がったところで、枚方市内で「藤阪子ども食堂」の活動をしている田邊美香さんからお話を聞きました。

●「子ども食堂」とは？

近年「子どもの貧困」が問題になり、その対策として「子ども食堂」が注目されています。親が夜間不在となり、子どもの夕食が用意されていない等という状況を「食事を提供する」というかたちでサポートする「子ども食堂」。民間の人の非営利活動として始まったこの活動が、全国に今広がっているのです。

枚方でも、『LIP』2015年12月号に登場いただいた「みん里☆0円こども食堂」に続いて「みん里くずはこども食堂」等、取り組みが徐々に広がってきました。さらにこの10月より行政から補助金が出るようになり、市内で「子ども食堂」11団体（13か所）が市の支援を受けて、月に一度～毎週、小学校や生涯学習市民センター、地域の集会所や店舗等で「子ども食堂」を開設しています。また、市の支援を受けず独自に活動を始めたところ（*）もあるようです。

11団体の一つ、「藤阪こども食堂」は、菅原生涯学習市民センターで、7月16日（土）に第1回、8月20日（土）に第2回の活動を行いました。「子どもが安心して『たまれる』」場所は、地域に一つでも多くあった方がいいと思う。そのためには、おとな

がつながらないとね」と田邊さん。楽しそうにテーブルを囲んでいる写真を見ながら、お話を聞きました。

「子ども食堂の目的は、地域に信頼に足るおとながいるということを知らせること」ともいわれます。おとなの力量が問われているともいえるでしょう。この日トークイベント終了後、参加していた市内7つの「子ども食堂」実施団体の人たちが中心となり、子ども食堂ネットワークが立ち上がりました。これからの活動の展開がますます楽しみです。

（LIP編集局 豊高明枝）

*「子ども食堂」に取り組む団体の一覧は、枚方市のホームページに掲載されています。

ビッグイシューとは、ホームレス状態の人に、モノやお金ではなく、雑誌『ビッグイシュー日本版』の販売という仕事を提供して、自立を応援する事業です。雑誌1冊350円のうち、180円が販売者の利益になります。枚



方T-サイト前や樟葉駅前等で、A4判の『ビッグイシュー日本版』を掲げて立っている販売者のおじさんを見かけたことはありませんか？

ビッグイシューを知っていますか？

セレブからホームレス状態の人までの人生観が読める雑誌

昭和の初め、朝鮮から多くの人々が労働力として日本に強制移住させられた。そんな不運な人々の子弟が、私が通っていた小学校に全学年あわせて十数名もいた。今にして思えば、私たちは朝鮮の人を蔑視していた。これは、日本民族優秀論を基本として軍事教育を推し進め、小中学生を洗脳した軍閥による馬鹿げた教育のもたらす結果に他ならない。

幸い、村人たちは差別することも無く、クラスの生徒たちもあからさまに彼らを苛めるようなことは無かった。朝鮮の人たちは、石川の堤防近くに建て並べられたバラックに住み、私たちはその辺りを

「朝鮮町」と呼んでいた。私のクラスに居た男子生徒は、朱珪相（青木富次郎）、崔寅出（徳山秀治）、李連周（木村茂隆）、金時晩（高田孝雄）の4名だった。括弧内は強制された日本名で、自分の本名を名乗ることは禁止されていた。

彼らの両親たちは、直径1メートルもあるコンクリートパイプを造る作業に従事していた。石川の川底からジャリを掘り出し、セメントと混ぜ合わせて外径90センチ、内径80センチ、高さ1メートルほどの金型に流し込んで突き棒で押し固め、1週間後に型から出して仕上げる大変な重労働だった。恐らく賃金は日本人の筋肉労働者の30%くらいだったと聞いたことがある。従って、生活は赤貧状態だったと思われる。私たちは、そのような貧しい生活は朝鮮人全体のレベルだと思っていた。祖国を侵略され、侵略者に統合されて全てを侵略者の意のままに踏みにじられた人たちの悲哀と怒りはどれほど強烈なものであったか、察するに余りある。

日本の敗戦後、大半の人々は祖国へ帰って行ったが、級友のうち、朱珪相君だけが日本に残った。彼の父は帰るべき家も土地も持たなかったからである。彼は頭脳明晰で戦後小さな電気店に勤め、後にK電装という会社を設立し、富士電機や松下電工の孫請けをしていた。私が勤めていた商社が、アメリカから電気絶縁材を輸入していた関係で、彼の会社

と取引があった。小学校の同窓会で色々話をしたとき、崔君、李君や金君の消息を彼に訊いたことがあった。「あいつらは、朝鮮戦争の頃丁度20歳くらいやから、兵隊に採られて死んだかも知れん、生きとったら連絡があるはずや。俺は日本に残っていたから生き残った。兵役の無い日本は極楽やで」と言う朱君の言葉が忘れられない。私は、折に触れて彼等の消息を調べ回ったが、崔君は北朝鮮、李君と金君は韓国に帰ったらしいというほかは全く分からない。

4年前、朱君も他界してしまった。共に学び、魚捕りや昆虫採集、石川での水遊びなど遊び回った

日々のこと、ふざけた彼等の笑顔などを思い出すと、涙が出そうになる。貧しくて靴も買えない金君に藁ぞうりの編み方を教え、一緒にぞうり編みをしたことや、崔君と畑に行きスイカを思い切り食べた夏の日のこと、朱君に手製の電気パン焼き器を貰ったこと、マラソンで最後まで先頭を切りながら腹痛を起こした私に付き合ってくれた李君のことなど思い出は尽きない。国と国がいがい

合っていても、個々の人々は争いたくないだろうし、トラブルを好む筈も無い。拉致問題も何処かに解決のための話し合いはある筈だと思いたい。相手を無下に刺激するような能動的な行動に繋がる安保法規では解決の糸口を自らの手で閉じていないだろうか。ミサイル発射は国際法規に反する大変な暴挙だが、考えてみれば話し合いの場を作る努力の欠如も一因ではないのか？ ―――私は、個人を犠牲にするような政策からは、何一つ平和への足がかりは得られないと思う。私は、今でも朝鮮へ帰った友人たちが生存していることを信じたいと思っている。もし生きていたとしても、苦しい思い出に満ちていた日本軍閥による日韓併合時代を忘れたいが故に一切の連絡を絶ってしまったのかも知れない。

文／画 鶴島昭雄

鶴島昭雄さん（枚方在住）に聞く 「戦争の体験」（9）

忘れ得ぬ幼友達



LIPが選ぶ

今月の五行歌

「日本にいる

ちえこ

ポケモンは

すべてゲットしたぜ」

どんだけ歩いてるねん

単身赴任の夫よ

行き先言えなくても

さなき

大丈夫

うちの家

知ってる

島のタクシー

4歳の汐音ちゃんが

ピチ

夢は何ですか？

夢なんかない

なんてどうして言えよう

汐音の夢は魔法使いになること

【五行歌ひらかた歌会】

☆毎月一度月曜日午前10時半～12時半、メセナひらかた諸活動室で集まっています。八月はお休みです。

問合せ akkie.toyotaka@gmail.com
または、090-5893-5635 (とよたか) まで「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判
原発賠償関西訴訟第11回期日の傍聴に行きました。

10月13日(木)大阪地方裁判所で、原発賠償関西訴訟の第11回期日が行われました。この裁判は、2011年3月の福島原発事故で関西に避難してきた人たちが、国と東電に対して、被害の完全賠償をさせること、事実関係を明らかにして、事故の真相究明を行うことを、訴える裁判です。

この日傍聴を求めて集まったのは、124人。希望者多数で抽選に外れて法廷に入れない人のために、地裁の隣にある弁護士会館で法廷とほぼ同時進行で模擬裁判が開かれました。私は抽選に受かり、法廷の傍聴ができました。

法廷では、被告・東電より東京電力の過失に関する準備書面7、被告・国より国の規制権限の不行使の違法性を否定する準備書面10とこれまでの国の主張の要旨を述べた準備書面11が提出され、原告からは準備書面33「土壤汚染と管理区域、クリアランスレベル」、同34「失敗学会最終報告書について」、同35「被告国第8準備書面に対する反論」を提出。準備書面33について、パワーポイントで内容説明がありました。すなわち、避難をしている原告の元住所41か所で土壤採取を行いベクレル(Bq)数を測定したところ、福島から茨城、千葉にかけての41地点のうち、37地点で4万Bq/m²を大幅に超える値が出て、30万Bq/m²以上のところも3か所あったこと、4万Bq/m²を超えているのは「許可なくして立入りを禁ず」という放射線管理区域に定められるところの値であるという

こと、また、採取した土壤のベクレル数をモニタリングポストの値と比較できるようシーベルト(Sv)に換算すると4～6倍の乖離率でモニタリングポストでの値の1/4～1/6の値になってしまったことから、モニタリングポストの数値のみで周辺地域の放射線量を判断できないということ、さらに、採取土壤のいずれもがクリアランスレベル(核燃料物質によって汚染された物でないとして取り扱うことができる基準)をゆうに超える数値を示していることから、避難すること、そして避難を継続することは、相当であると述べました。

約20分で閉廷すると、模擬裁判の行われていた会場で報告集会。今回は閉廷後の進行協議で原告、被告の各々の主張の概要が3時間ほど述べられるのに合わせて、原告側からのプレゼンテーション90分が紹介されました。続いて、原告からの報告や、支援者関係者からのアピール。年間放射線量20mSv未満の地域に対する避難指示の解除に伴い、避難指示区域外からの避難者に対する住宅支援が今年度末で打ち切られるということが、今大変な問題となっています。大阪市の住宅無償提供打ち切りに関連するパプコメの締め切りがこの日までと知らされて、その場でパプコメを書く人の姿が多く見られました。

次回第12回期日は、12月15日(木)午後2時開廷です。
(とよたかあきえ)

イベント・サークル・ボランティア情報

無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ

・バザー 11/2(水)・11/9(水)・11/14(月)：市役所前の
岡東町公園にて 10:30~

・廃油回収 11/15(火) 10:30~：南部生涯学習市民センタ
ーにて 12/20(火) 10:30~：枚方市役所前にて

・減量フェア 11/6(日) 10:00~：穂谷川清掃工場にて
・コマツ事業所フェア 11/6(日) 10:00~：コマツ大阪工
場にて

お近くにお越しの際にはぜひいらしてください。皆でお待ちし
ております。^ ^

また現在、2017年オリジナルカレンダー「やさしいちきゅう
ものがたり」1本 1,000円(送料無料で販売中です。ご注文
は当作業所まで!!

障害者労働センター 枚方市中宮山戸10-12-101

TEL 072-848-0508

ネットショップ URL: <http://paso0508.cart.fc2.com>

*** 知的障害者を普通高校へ北河内連絡会の

11月定例会のお知らせ ***

2学期も後半、どこを受験するか、その方法など、具体的に動
く時期になります。集まって、情報を豊かにして、知恵を出し
合いませんか。

○11月26日(土曜日) 午後1:30~4:30

○ラポール ひらかた 2階 集会室

電話：072-845-1602 (駐車場あり)

○課題

- ① この頃の子どもの様子・学校での課題など
- ② 今年受験を実現するために：個別のケース、
- ③ 大阪府の今年度の受験を巡って
- ④ 「医療的ケア」の要る子ども達を巡って
- ⑤ その他

○連絡先：新：072-867-1120 松森：090-
1960-3469

皆さま、お誘いあわせの上、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

枚方自閉症児(者)親の会 50年の歩み

~ともに生きる、をつらぬいて~

親の会では、「自閉症児(者)」とともに50年間、共生する
社会の実現を願い、活動してきました。この歩みを、支援して
いただいた皆様と振り返りたいと思います。

日時：2016年11月23日(水・祝) 10:00~15:00

場所：ラポールひらかた 4階 大研修室

※京阪枚方市駅下車 北へ500m 駐車場あり

参加費：無料

《内容》

●午前の部(10:00~12:30)

茶話会形式。DVD鑑賞。展示物あり。

●午後の部(13:00~15:00)

講演：石神 瓦氏(社会福祉法人 大阪府衛生会附属診療所所長)

ギター演奏：高橋紗都さん

フリートーク：家高富美子さん(元小学校教師)、本多利子さ
ん(元中学校教師)を交えて

※昼食は各自ご持参ください。お茶・お菓子は用意しています。

主催／枚方自閉症児(者)親の会

後援／枚方市 枚方市教育委員会 枚方人権まちづくり協会

==結成五十周年に際して==

中々視線が合わず、ちょっと目を離すといなくなってしまう
二歳半。「自閉症」と診断された「親の会」第一号の息子が、
キャラはそのまま今は、白髪混じりのおじさんになりました。

校区の小・中学校、府立大手前高校の定時制に学んだ息子は、
市の非常勤嘱託として週三日勤務し、時には友人達と共に同窓
会を楽しみ、地域の皆さんと日々普通に暮らしています。

そんな生き方に共感してくれる親子が、少人数ながら「親の
会」を続け、それを支援して下さる多くの方々を支えて下さっ
ています。五十周年を迎えた今、今後ともよろしくの言葉と共
に、改めて深く感謝申し上げます。

枚方自閉症児(者)親の会 代表 鶴島緋沙子

問合せ：三浪(さんなみ) 072-868-9929 (電話&FAX)

春名(はるな) 072-397-0053 (電話&FAX)

※ 瀬戸内寂聴先生と山田洋次監督からお祝いのメッセージを
戴いております。

12月10日(土) 11日(日)、「子どもの権利条約フォーラム」が吹田で開催

■子どもの権利条約を知っていますか？

1989年11月20日、国際連合が子どもの権利条
約をつくりました。これは、まだ18歳になってい
ないすべての子どもの権利をまもるために、「子ど
もにとっていちばんいいことをしよう」と、世界中
の国や地域のおとなたちが集って知恵を出し合い、
つくったものです。日本では、1994年4月に批准、
5月22日からこの条約が法律と同じように扱われ
るようになりました。全部で54条ある条文のなか
で、子どもの権利とその権利を守るために国やおと
ながししなければならないことが定められています。

■子どもの権利条約フォーラムって、何？

条約批准の約半年前の1993年11月、第1回の子
どもの権利条約フォーラムが東京で開催。子どもの
声を国会議員や外務省が聴く「子ども公聴会」が、
このフォーラムの全体会の中心となりました。それ
以降毎年一度全国各地で、「子ども参加」の工夫を

こらし、子どもの権利条約フォーラムが開かれてい
ます。昨年石巻での開催に続き、今年は20年ぶり
に大阪で。12月10日11日、吹田市の千里金蘭大
学で、第24回にあたる「子どもの権利条約フォー
ラム in 関西 2016」が開かれます。(フォーラムの
詳細については、ホームページ
<http://kodomonokenrikansai.wixsite.com/network>
をご覧ください。)

■子どもの権利って、『わがまま』につながるんじやない？

子どもの権利条約は、私たちの生活を規定する法
律と同じような扱いであるというのに、私たちはそ
のことをあまり知りません。「わがままにつながる
んじゃない？」よく聞かれるそんな問いに対して、
どのように答えられるのでしょうか？ 一緒に考え
てみませんか！

(子ども情報研究センター会員 豊高明枝)

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた3Fウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [枚方市磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーサポートひらかた [枚方市招提南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティーカフェ テーラー [枚方市西禁野 1-3-27 禁野ロバース前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [枚方市長尾元町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シャルム [枚方市南楠葉 1丁目 2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [枚方市岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ 街かどデパート 藤阪愛逢 [枚方市藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [枚方市楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203号室 072-856-9177]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [枚方市堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ソーイングの店 みなよし [枚方市香里ヶ丘 3-11-34 072-854-0756]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [枚方市田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアースタジオぱべぼ [枚方市南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [枚方市大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ 枚方市役所 津田支所 [枚方市津田北町 2-25-1 072-858-1502]
- ★ (財)枚方市文化国際振興 [枚方市岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 枚方市総合福祉センター [枚方市津田東町 2-26-1 072-858-5835]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ばびるす [枚方市大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [枚方市中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ 紅茶専門店VIE [枚方市南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャソース [枚方市牧野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [枚方市山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [枚方市村野西町 1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [枚方市交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [枚方市堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・メディ [枚方市堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ 渦潮ベーカリー楠葉店 [枚方市町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [枚方市車塚 1-1-1]
- ★ 教育文化センター [枚方市磯島北町 37-1 050-7102-3150]
- ★ 三代目たぐちゃん ピーコ [枚方市牧野南 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚方市牧野南 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚方市牧野南 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ MogaJogaDining 枚方宿 [枚方市堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [枚方市宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ とくふうホーム [枚方市大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚方市牧野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこ」 [枚方市楠葉並木 2-30-8 072-846-9439]
- ★ スパイル枚方南 [枚方市津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ やすらぎの丘霊苑 [枚方市大字尊延寺 4588番 4 072-896-1212]
- ★ 蒔のいえ [枚方市甲斐田町 5番 25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660]
- ★ ちんさいまいくえん みんなの里 [枚方市楠葉並木 2-28-4 072-845-6814]
- ★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 [西禁野 2-8-3 072-848-8481]
- ★ ぐずはアートギャラリー [枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナモール 3階]
- ★ カフェル ボン [枚方市高田 2丁目 20-17 072-396-8785]
- ★ 「市民の広場」ひこばえ [枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館A室 072-846-8780]
- ★ 街かどデパート秋桜 [枚方市宗谷 1-1-1 072-859-3991]
- ★ 明日花障害者作業所 [枚方市西禁野 1丁目 3-18 072-848-2324]

- ★ フレッシュベーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアサロンおもち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)]
- ★ えんぞ村作業所 [交野市天野が原町 2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野が原町 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所内せいせいネット [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ ギャラリー天野が原 [交野市天野が原町 15丁目 20-5]
- ★ カフェチアーズ 交野市私部 2丁目 1-20 中西ビル1階 072-893-8933
- ★ Cut wa Cocon [交野市柳が枝 55-13 072-893-0020]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町 豊田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪府淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]
- ★ ふらっとねががわ [寝屋川市東大和町 2-14(市立産業振興センター5階) 072-800-5789]
- ★ ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里南之町 072-835-3335]
- ★ 大衆酒場 金ハットあん 交野店 交野市私部 3丁目 18-1 072-894-2277
- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町 荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 西宮男女共同参画センター ウェーブ [西宮市高松町 4-8 0798-64-9495]
- ★ 大東市立生涯学習センター アクロス [大東市末広町 1-301 072-869-6505]
- ★ フェルデンハウス北斗星 [寝屋川市市井町 5-26 070-5435-1965]
- ★ 青年の家 [交野市私部 2丁目 29-1 072-892-7721]
- ★ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) [大阪府中央区大手前 1丁目 3-49 06-6910-8500]

イラスト 表紙：平井由恵

■ LIPは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

応援ありがとうございます！

LIP応援団

匿名希望さん

LIP会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
44,746	前号から繰り越し
1,000	応援団寄付
2,900	イエローレシート寄付
▼500	10月ロッカー代
▼4,170	10月号印刷代
▼560	郵送代
43,416	計(次号へ繰り越し)

音楽でリフレッシュ！

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか？
 日時：11月6日(日) 14:00~15:30
 場所：サンプラザ生涯学習市民センター 5階 視聴覚室
 日時：11月24日(木) 13:00~14:30
 場所：サブリ村野 北館 104号室
 参加費：500円(初回無料)
 申し込み・問合せ 音楽でリフレッシュ！ 担当：中嶋
 TEL:072-840-5493

第12回 朗読劇団「言葉座」公演

＊枚方ゆかりの作家たち＊

日時 12月10日(土) 11時・15時
 12月11日(日) 13時半
 開場はいずれも30分前
 場所 南部生涯学習市民センター
 前売り券 1000円 当日 1200円
 連絡は鶴島まで(072-858-1566)

— 学習会のご案内 —

☆ 憲法を考えるカフェ 「憲法から見た沖縄」
 日時：11月27日(日) 午後2時~4時
 会場：交野市ゆうゆうセンター 2F 集団指導室
 (JR河内磐船駅歩 2分または京阪河内森駅歩 6分)
 講師：賀数さん(沖縄出身、枚方市在住)
 主催：憲法とくらしを考える会
 連絡先：072-892-4938(事務局)
 参加費：500円(飲物・お菓子付)

「枚方市民にだけ」
 読んでほしい情報サイト
 枚方つーしん 検索